放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 2月　25日　　事業所名　　阿桜園

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・活動や利用者個々の状況に応じて、ホールや体育館を利用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			・適切に配置されています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		・支援室の入り口が狭いため、車椅子移動時は十分に配慮しています。 ・通所児童が利用するトイレはバリアフリー化されていないのが現状なため、必要に応じて見守りや介助を行い、安全の配慮に努めています。	・バリアフリー化されていない箇所もあるため、今後も必要に応じて見守りや介助を行い、安全の配慮に努めていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			・職員全員で話し合い、業務改善に努めています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・保護者向けの評価表を活用し保護者の方の意向を確認し、業務の改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・ホームページで公表します。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	・現在は利用者の保護者と園内の評価のみとなっているが、今後必要に応じて実施を検討していきます。	・外部評価は実施していませんが、法人が行う内部監査等を通して業務の改善に努めていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・外部の研修や園内研修に参加し、支援の向上に努めています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			・子どもと保護者のニーズを聞き取り、職員で検討し支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・園で統一されたアセスメント票を活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・職員で話し合い、立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・利用者一人ひとりの特性に合わせた活動や季節毎に工夫しています。	・固定化している状況もあるため、新しい活動も取り入れていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			・利用状況や場面に合わせて、個々に合った支援を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			・個別活動と集団活動を組み合わせて作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・支援開始前に、支援内容、役割分担、活動内容等の確認を行っている。また、前日の振り返りや気付いた点を共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			・利用者の状況や保護者と情報共有した内容を確認しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・分かりやすく、適切に記録することを心がけています。月末に検証を行い、改善につなげています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・6カ月に1度、モニタリングを行い支援計画の見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている		○		・地域交流の機会の提供については実施できていない状況です。 ・今年度、計画していたがコロナ感染症拡大のため中止しました。	・感染症の状況を見ながら、地域交流の機会を提供していきたいと思います。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・児童発達支援管理責任者を中心に参加しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			・園担当者が学校との連絡会へ参加し、情報共有を行っている。必要に応じて学校担当者と連絡を取っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			・医療的ケアが必要な子供については、医師の指示書を作成してもらい、緊急時はかかりつけの病院へ連絡する体制となっています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			・相談支援専門員と情報の共有に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		・該当者がいません。	・今後、必要性があり同意があれば行っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		・秋田県立医療療育センターの研修や外部講師を招いての研修に参加しました。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	・現在、そのような機会は設けていません。	・利用者や保護者の要望を確認しながら実施を検討していきたいと思います。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・電話で連絡を取ったり、送迎や連絡帳を通して、保護者とコミュニケーションを図り、情報の共有に努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている		○		・ペアレント・トレーニングは行っていませんが、研修を受けた職員と情報の共有をしています。	・ペアレント・トレーニングの研修を受講した職員がいるので、研修を生かして必要に応じて支援を行っていきたいと思います。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・重要事項説明書等を通して、丁寧な説明を心掛けています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			・保護者からの相談や悩みについては、必要に応じて助言し、支援に努めています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	・現在、父母の会等の支援は行っていません。	・活動を通して保護者の方が見学、参加できる機会を設けていくことで、保護者の方同士の交流を図っていくことも検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・苦情相談受付の体制は整っており、園の広報誌や通信等を発行して情報提供しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・定期的にたんぽぽ通信を発行し、予定をお知らせし、活動写真を掲載して様子も伝えています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			・法人が定めた個人情報保護規定に基づき、適切に取り扱っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・子どもたちの表情や、活動時の様子がよく分かるよう活動写真を発行しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・例年、園として行っているが、今年度は感染症対応で行事に地域住民の招待は行いませんでした。地域貢献活動を実施しています。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		・マニュアルが整備されており、職員にマニュアルを周知しています。	・今後はマニュアルの内容を保護者にも周知する機会を作っていきたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・園で毎月、避難訓練を実施している。利用時に実施した場合は参加しています。参加時の様子についてたんぽぽ通信を通して保護者へ伝えています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			・虐待防止対策委員会を設置し、毎月会議を実施しています。また、第三者委員を含めた、虐待防止委員会も設置しています。全職員を対象とした研修やチェックリストの実施、読み合わせ、週の目標の振り返り等を行い、虐待防止に努めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			・マニュアルに沿って対応をしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		・現在、対象者はいないが、受け入れの際には連携して対応していきます。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・事業所内で共有しています。	